

# まふ で KOSO!



## 軽い気持ちで必ず受診を



永井琢人 (ながい・たくひと) 1971年、浜松市生まれ。浜松医科大卒。愛知医科大で小児腎臓専門外来の立ち上げに関わる。2021年4月から多治見市民病院の小児科部長。



多治見市民病院の外観

学校で検尿を受けることがあると思います。異常が出た場合、「来年また異常が出たら病院に行くか」「症状がなければいいか」と構えるのではなく、腎臓の専門として確実に受診されるようお願いします。腎臓が原因の病気で症状が出るのは、もう取り返しが付かなくなっているタイミングです。

検尿で異常が出ても、心配しなくてよいケースがほとんどです。最も多いのはタンパク尿で、体質的なものもありますが、年齢を重ねるにつれて収まるものもあります。「体が疲れてい

るからタンパク尿が出る」ということもよく聞きますが、風邪などのときは別としてそうではありません。

### ◆ 検尿で異常が出たら ◆

受診されると、医師がどれくらいのスパンで経過観察するか、追加の検査をするかを症状に応じて判断します。大きな病気にあたることは少ないので、軽い気持ちで来てもらって大丈夫です。遺伝性疾患の場合もあるので、家系に腎臓病の疾患がある人がいれば注意が必要です。

ただし、中には本物の病



気が隠れていることもあります。検尿で異常が出た場合、精密検査の依頼書も届くのでそれに従ってもらえればと思います。

夜尿についてもお話しします。ぼうこうに尿がたまって脳にシグナルがいかずおねしょをしてしまう。たいていの場合、脳に伝達

する回路が未熟な場合が多いです。さまざまな薬が回っていますが、機能がうまく伝わるようになるまで待つしかないこともあります。

ただ、これも一度おむつが外れて自立してから再びおねしょをするようになった場合などは、重大な病気が隠れていることもあります。心配なときは医師に相談してください。

インターネットでいろいろ調べられる時代ですが、親御さんの中には断片的な情報をつまみ食いしてのまれてしまう人もいます。医師も十分な情報を提供しますが、時間的猶予があるときはそういった情報を自分の中で消化して治療を受けてもらいたいと思います。